

～「子どもだけど大人」「大人だけど子ども」な人たちへのメッセージ～

LITTLE BIG

第43号 2010.1.27

発行:福島県立図書館 こどものへや

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

TEL 024-535-3218

kodomo@library.fks.ed.jp

<http://www.library.fks.ed.jp>

【Pieces -かけらたち-】本の中の言葉

そのとき遼介は鳥肌がたしかに立った。

——面白くて、新しいサッカーをやろう。

その言葉は、初めて耳にしたフレーズだった。

『サッカーボーイズ 14歳』(はらだみづき/著 角川書店 2009年 p236)
913/ハミ

「知らない、わたしだって」

「ああ、おまえは何も知らないし、何もできないし、何も自分ではしたことがない。だから、自分で考えようともしないんだ」

深行は、冷静に付け加えた。

「おれは、そういうやつには一番むかつくんだ」

『レッドデータガール』(荻原規子/著 角川書店 2008年 p130) 913/オノ

名画がたくさんある美術館に行くのは、名画の世界に身をひたすためではありません。自分にピタリとくる絵を探すためです。(中略)

音楽も詩も小説もそうです。名作がいっぱいあるのは自分だけの宝物を見つけるためです。ぼくは、自分に合うものを見つけ出すための選択肢がいっぱいあることが、文化の豊かさだと思います。

「楽しく遊んでいる感じ」(五味太郎/著 『仕事ってなんだろう 子どもだって哲学5』(矢崎節夫ほか/著 佼成出版社 2007年)所収 p55) 366/ヤ

かれはふるえる両手で彼女の服をたたんだ。たたみ、なでつけ、リネンのあいだにはさみ、ラヴェンダーを散らして、蛾やかびがつかないようにした。そしてその後、病床にあった何週間かのあいだ、それまで信じてもいなかつた神に向かって、あの娘を自分のもとへ返してくれ、と祈った。

『アーサー王ここに眠る』(フィリップ・リーヴ/著 井辻朱美/訳 東京創元社 2009年 p339~340) 933/リフ

愛【love】

私は「愛」についてなんて気恥ずかしくて普段は考へないですし、難しく捉えがちなのですが、みなさんはどうでしょうか？

しかしますは『愛ってなんだろう 子どもだって哲学4』(※1)で「愛」について思いを深めてみましょう。難しく考えなくても、身の回りに愛は溢れているのだと気づかされます。

さらに絵本だと、ますます表現はストレートです。『どんなにきみがすきだからてごらん』(※2)は、ここまで素直に「好き」と言えることに羨ましさを覚えます。逆に『すき』(※3)のように、好きだからこそいじわるを言ってしまう気持ちに共感してしまう人もいるのでは。

また、詩や歌で愛を詠んでいるものもあります。『ラヴソング』(※4)や『愛を想う』(※5)など、読んでいると優しい気持ちになれます。

寒い時期だからこそ、心だけは暖かくいたいもの。普段はなかなか言えない気持ちをたまにはストレートに表現してみてはいかがでしょう。

(※1)渡辺えり子ほか/著 佼成出版社 2007.9

(※2) サム・マクブラットニイ/ぶん
アニタ・ジェラーム/え 評論社
1995.10

(※3) トメク・ボガッキー/作 セー
ラー出版 1998.2

(※4)石津ちひろ/詩・植田真/絵
理論社 2007.2

(※5)東直子・木内達朗/著 ポプ
ラ社 2004.9

ナメから本を読む

このコーナーでは、テーマに合わせて本のちょっと変わった読み方をご紹介します。

テーマその③ 小説恋愛？

もうすぐバレンタインデーですね。

人が人を好きになるのはとても素敵なことです、友達に対して「あの人が好きなの！？どこがイイの？」と思ってしまう人もいるのではないでしょうか。それも仕方ないこと。やはり人には「好み」というものがあるのです。

本の登場人物に対してもそれは同じ。「あの本のあのキャラクターが好き！」とか、「この主人公にあこがれる！」など、人それぞれ違ってくると思います。

そこで今回は、いろいろなタイプの登場人物を紹介してみたいと思います。本の中で自分の好きなタイプを分析することで、現実の恋愛にも少し役立つかも…！？

あなたはどんなタイプの人が好きですか？

★女の子編★

書名	著者名	出版社	人物	タイプ
『アート少女』	花形みつる/著	ポプラ社	根岸節子(美術部部長)	好きなことに真っ直ぐ！男顔負けの情熱タイプ。
『幸福ロケット』	山本幸久/著	ポプラ社	町野さん(主人公の友達)	ぶりっこだが、情はあつい。
『レッドデータガール』	荻原規子/著	角川書店	鈴原泉水子(神社の一人娘)	おっとりとした女の子。守ってあげたくなっちゃう？
『一億百万光年先に住むウサギ』	那須田淳/作	理論社	ケイ(主人公の同級生)	強そうで、でもたまに弱い一面を見せる。いい意味で「ギャップ」がある女の子。

★男の子編★

書名	著者名	出版社	人物	タイプ
『ゲド戦記』シリーズ	アーシュラ・K・ルニグウィン/作	岩波書店	ゲド(魔法使い)	大人の落ち着いた男性。
『バッテリー』シリーズ	あさのあつこ/作	教育画劇	原田巧(ピッチャー)	すっごく自分勝手。でもすっごく天才！
『サッカーボーイズ』シリーズ	はらだみずき/著	角川書店	武井遼介(サッカー部キャプテン)	チームメイトには優しいが、女の子はちょっと苦手？「爽やか」という言葉がピッタリ。
『ドゥームズデイ・ブック』	コニー・ウィリス/著	早川書房	フィンチ(大学教授の秘書)	こまめに動き回る姿が可愛い！

また、「きゅん」とくる本でオススメなのが『初恋 声にだすことばえほん』(島崎藤村/詩・かわかみたかこ/絵 ほるぷ出版 2009.10)。情緒的な詩でロマンチックな気分に浸れます。